

ホットな
福祉情報誌

はあとふる ふくしま

2023

9月

No.320



特集

地域をつなぐ避難者地域支援コーディネーターの取り組み

シリーズ [未来へつなごう“ふくしま”から]

9月は認知症を知ろうアルツハイマー月間

認知症になってもいきいきと活躍したい!

～「にぎらないおにぎりカフェふくろう」～

2023年度シリーズ ふくしまのみらい

暑い日は水遊びが一番!!

太陽に負けない

笑顔もピッカピカ!!

(会津若松市・会津若松市湊しらとり保育園)



地域をつなぐ 避難者地域支援 コーディネーターの 取り組み



関係機関

- 避難元社協
- 復興公営住宅の自治会
- 生活支援コーディネーター
- 地域包括支援センター
- 民生委員・児童委員
- 住宅管理室
- ふくしま心のケアセンター
- 特定非営利活動法人みんぶく など



避難者地域支援コーディネーター

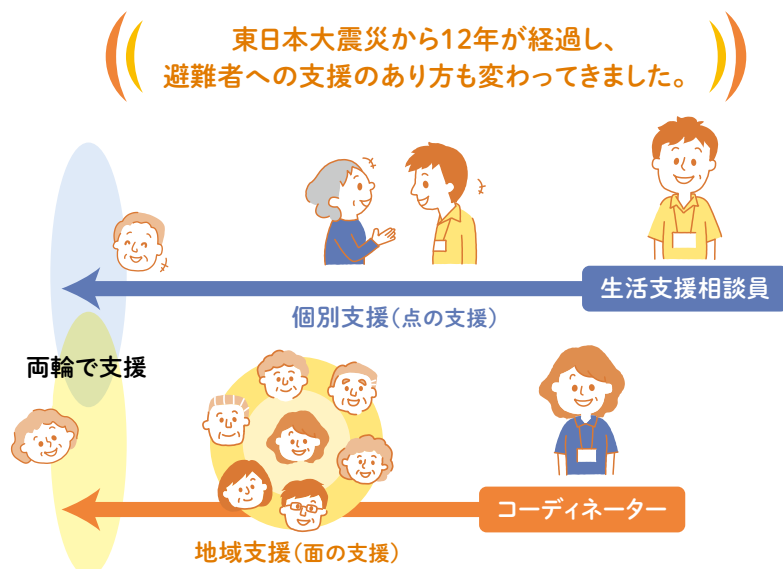
東日本大震災と原発事故から12年が経過し、県内の復興公営住宅では、避難者と地域住民のつながりの希薄化が問題となっています。今回は、復興公営住宅で暮らす人を支援する「避難者地域支援コーディネーター（以下・コーディネーター）」の支援活動をご紹介します。

避難生活の長期化に伴い、復興公営住宅では入居者の高齢化が進んでいます。避難者の中には、新しい環境に溶け込めず、孤立や不安を感じる人もいます。これらの問題を解決しようと、県社協では昨年度より県内の市町村社協にコーディネーターを配置しました。（令和5年度は21市町村社協に32名配置）

これまでは各市町村社協に配置された生活支援相談員が中心となつて避難者一人ひとりの個別支援（点の支援）を行ってきましたが、コーディネーターは、復興公営住宅が立地する地区の自治会、民生委員、関係機関などと連携することで、地域支援（面の支援）を行います。

また、県社協避難者生活支援・相談センターでは、昨年度にモデル事業として郡山市内の復興公営住宅17団地・570戸を対象とした実態調査を行いました（令和5年度は県内全域の復興公営住宅の全戸約5,000戸を対象に実施）。その結果から、同じ団地内に避難元自治体が異なる住民が混在していることや入居者の高齢化、単身世帯の増加といった現状が見えてきました。

避難者の孤立・不安を解消し、地域とのつながりを築いていくために



コーディネーターには、そうした住民の地域社会からの孤立・不安の解消に向けて、その地域の実情に応じた支援を展開していくことが求められています。今月号では、郡山市社協における各団地での取り組みを紹介します。

住民自身が主体的につくっていく心地よい居場所

郡山市社協では、定期的な訪問を通して復興公営住宅におけるコミュニティの再構築の必要性を感じていました。これまで集会所を利用したサロン活動などを行ってきましたが、誰もがふらっと立ち寄り、好きなように過ごせる居場所をつくろうと新たに「Rococo」を11団地で立ち上げました。その中の東原集会所では、住民の皆さんが健康麻雀や花札を楽しんだり、お茶を飲みながらあれこれ話したり、日頃の不安や疑問をコーディネーターに相談したりと、それぞれが自由な時間を過ごしていました。

コーディネーター
活動
レポート

郡山市社協

復興公営住宅集会所
(11カ所)

集会所を活用 住民の居場所づくり

令和5年4月スタート

Rococo（ろここ）

隔週/月2回 10時～12時

会話を交わしながら、楽しいひと時を過ごす参加者の皆さん。



開催日にはのぼりでもお知らせ!



郊外にある東原団地。窓が大きく開放的な雰囲気の集会所。



お互いを思いやれる“住民力”をつけるきっかけにしていきたい。

元気な笑顔を見られるのがうれしい。参加者の輪を広げていきたい。

仲間とふれあう中で互いを気遣い合う間柄に

「5分でも10分でも誰かと話すと元気になります。もっといろいろな人たちが集まってくれたら」と自治会長の渡邊光一さん。一人、また一人と訪れる参加者。世間話に花が咲き、終始にぎやかなRococo。仲間とのふれあいを楽しむ中で、互いの気遣いが生まれています。「地域住民の方も参加できるように働きかけ、地域活動の拠点づくりができれば」と、コーディネーターの安齋裕美子さん。Rococoで生まれたコミュニティのこれからに期待がふくらみます。



避難者地域支援
コーディネーター
あんざい ゆみこ
安齋 裕美子さん



東原団地
自治会長
わたなべ こういち
渡邊 光一さん

移動支援「お買い物便」 令和4年12月スタート！

一人暮らしの高齢者にも買い物で選ぶ楽しみを

実態調査から、復興公営住宅の世帯構成は単身者が一番多く、年齢的には70代が最も多いという結果が得られました。加えて、住民の生活圏が狭い範囲に限られ、コミュニケーションが孤立している傾向が見て取れました。

そこで、コーディネーターは自己紹介も兼ねて各団地にチラシを配布し、「みなさんの『こんなこと、あったらいいな』を聞かせてください！」というアンケート調査を実施しました。すると、住民たちが「自分で出向き、自分の目で見て、ほしいものを選びたい！」と思いつつも「徒歩圏内に商業施設がない」「買い物に行く交通手段がない」などといった悩みを抱えていることがわかりました。



バスに
乗り込み
スーパーへ



買い物を
終わったら
再びバスへ



定期的に案内
チラシを配布
しています。

そうした住民からの声に対し、郡山市社協は、昨年12月から3月まで富田団地を対象に、毎週水曜日に移動支援を行いました。今年度4月からは八山田団地を加え、第2・4水曜

日の月2回移動支援を実施しています。毎回参加者の皆さんは連れ立って出かけ、帰りのバスではたくさんさんの商品を手にも、買い物を楽しんだ様子が見られます。

月2回のショッピングを楽しむに
連れ立って出かけるように

毎回
買い物を
楽しんでいます！



バス移動が難しい高齢者のために歩いて行ける移動販売を導入



目印ののぼりを立て、旬の野菜をはじめ苗などを販売します。



焼きたてパンのいい香りに誘われて、買い物客が集まってきます。



今年4月からはじまった移動販売。販売が行われる集会所前には、開始時刻になると人が集まるように。

高齢者の中には、バスに乗り込み移動することが困難な方もいらっしゃると思います。また、東原団地は近くにスーパーはあるものの、住民同士の交流は生まれていくことから、買い物と同時に地域の交流もできる場として、移動販売を導入することにしました。

高年齢者の中には、バスに乗り込み移動することが困難な方もいらっしゃると思います。また、東原団地は近くにスーパーはあるものの、住民同士の交流は生まれていくことから、買い物と同時に地域の交流もできる場として、移動販売を導入することにしました。

郡山市社協

郡山市
東原団地

令和5年4月
移動販売もスタート！
毎週月曜 11時～12時

移動支援「お買い物便」の次の展開として、地域住民との交流も視野に入れて導入した移動販売。3棟ある東原団地の全150戸に、チラシを配布してPRを行いました。

無添加のパン、無農薬で作る朝採りの野菜は、どちらも種類が豊富で、価格も手頃なため毎

回多くの買い物客で賑わいます。「移動販売をきっかけに交友関係が生まれています。団地から新たな住まいに転居した人が、買い物に来て団地に住む友人と再会する光景も見られ、団地内外のコミュニケーションの場となっています」と、コーディネーターの内田博子さんは話します。

全戸にチラシを配布してPR
団地内外のふれあいの場に



避難者地域支援
コーディネーター
うちだ ひろこ
内田 博子さん



赤ちゃんや子どもを連れたお客様とは、つつい話し込んでしまうこともあるのだとか。

カフェ兼事業所の前にて利用者とスタッフで。会社名やカフェの名前となっている「ふくろう」には老(老)も幸せ(福)に暮らせるようにとの願いが込められています。

取材協力

株式会社
ロングリバー
いわき市明治団地 64-1
TEL 0246-84-7513
<http://long-r.jp/>



株式会社 ロングリバー デイサービス 福老 B L G いわき
【9月は認知症を知ろうアルツハイマー月間】

認知症になっても
いきいきと活躍したい！
「にぎらないおにぎりカフェふくろう」

みんなのやりたいことが
形になった場所

「サーモンとアボカドのミルフィーユです」とにこやかな笑顔を浮かべて、にぎらないおにぎり「おにぎらず」や味噌汁、小鉢の乗ったプレートを提供する高齢者。「にぎらないおにぎりカフェふくろう」(以下「ふくろう」)では、2階に併設されている「デイサービス 福老 B L G いわき」に通所する利用者が有償ボランティアとして働いています。「ふくろう」はいわき市でデイサービスと訪問介護を展開する株式会社 ロングリバーが2021年10月にオープンさせたカフェで、認知症を有するデイサービスの利用者5名と、介護・厨房スタッフ5名の計10名が働いています。ロングリバー代表取締役の長谷川正江さんは、「デイサービスは家族に勧められて通所する方がほとんど。そのため、開所当時から自らの意思で『行きたい』と思えるような場所にしたいと考えていました」と話します。カフェオープンのかっかけは、当時デイサービスに通所していた利用者との日々の会話から生まれました。

利用者もスタッフも
毎日楽しく過ごしています

利用者はランチメニューの下準備や小鉢作り、テイクアウトの箱詰め、配膳・下膳のお客様対応などを行っています。利用者への謝礼金の設定をはじめ、おにぎらずの具材、店内にある家具や装飾などもみんなで見出し合って決めたと言います。

「ふくろうをオープンして利用者がいきいきしている表情だったり、仕事ができる喜びを伝えてくれたり、自分が誰かの役に立っていることを感じてくれたりする様子を見られることが何よりうれしいです」と長谷川さん。利用者の家族からも「ふくろうに通ってから自宅での会話が増えた」「短期記憶をなくすことが多くても、ふくろうでの出来



テイクアウトもOKな
おにぎらずランチ♪

唐揚げは
お店のイチオシ!





赤い羽根で ささえあい

社会福祉法人 福島県共同募金会

〒960-8141 福島市渡利字七社宮 111 (福島県総合社会福祉センター内)

電話 024-522-0822 FAX 024-528-1234

メールアドレス akaihane@axel.ocn.ne.jp

ホームページ <https://akaihane-fukushima.or.jp/>

赤い羽根共同募金運動スローガンの 入選作品が決定しました!

福島県共同募金会では、共同募金運動をより身近に感じてもらい、ともに支え合う福祉のまちづくりへの関心を高めることを目的に、毎年スローガンの募集を行っております。今年は、**840**点ものご応募をいただき、去る6月29日開催の募金委員会において審査した結果、下記のとおり入選作品が決定いたしました。たくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。

応募期間: 令和5年4月1日～5月31日

【最優秀賞】

赤い羽根 勇気と優しさ 助け愛

おおとも わかな

大友 羽奏 (会津若松市立一箕小学校 6年)

【優秀賞】

町中に えがおはばたけ 赤い羽根

とよしま のぞみ

豊島 希実 (いわき市立郷ヶ丘小学校 4年)

赤い羽根 やさしい気持ちを はこんでね

あかね たいが

赤根 大河 (国見町立国見小学校 3年)

自分から やさしさ もちよる あたたかさ

むらき ことは

村木 琴羽 (会津美里町立宮川小学校 3年)

赤い羽根 見えない笑顔の 贈り物

さとう あずみ

佐藤 愛純 (南相馬市立石神中学校 3年)

赤い羽根 地域福祉の 応援隊

すずき ゆうか

鈴木 優花 (湯川村立湯川中学校 3年)

赤い羽根 つながる笑顔 地域の輪

さんべい ちかこ

三瓶 千香子 (福島県立あさか開成高等学校 1年)



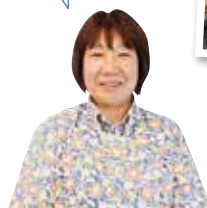
「これはピンク色のドレスの席に」と具体的な指示をすることで、利用者が混乱しない工夫をしています。



開店準備をする利用者とスタッフ。利用者同士のチームワークも軽やか。



利用者の自立心を尊重することを大切にしています。



ロングリバー代表取締役
長谷川 正江さん

episode

オープン当初は心配な気持ちから、配膳・下膳の際もずっと利用者の後ろについてしまい、過介護になっていた自分がいました。認知症の方に偏見を持たないようにと話していた自分が、一番偏見を持っていたのかもしれないと気づかされた瞬間でした。

事を覚えていて話してくれたことに驚いた」などの声が聞かれています。利用者の折原敬子さんは「他の利用者とも姉妹のように仲良く、毎日がとても楽しいです。これから仲間たちとずっと続けていきたいです」と話していました。

「たとえ病気になっても役割や目標があるということは生きる上でとても大切なことだと感じます。こうした理念を支える事業所がもつと広がっていったら良いなと思っています。また、こんなに楽しいことが仕事で良いのかと思うくらい、充実した毎日を過ごしています。今後はこうした楽しい介護もあるということもアピールしていきたいです」と長谷川さん。ここで生まれるたくさんの笑顔が、訪れる人の心とお腹を満たしてくれています。

県社協からのお知らせ

令和5年度県民介護講座（下期）のご案内

受講料
無料

二本松事務所では、介護に関する講義や実習を通じて基礎的な知識や技術を学んでいただく講座を実施しています。『介護』に関心のある方ならどなたでも参加できます。

介護初級講座

～はじめての介護講座 介護を学ぶ最初の一步に最適！～

時間：午後1時～午後4時

10/14日

介護実技基本講座

～知ってよかった！らくらく介護講座～

介護のプロから『介護技術のコツ』を学べる実技中心の講座です。具体的な場面ごとに学べるので、すぐに役立つこと間違いなし！

時間：午後1時～午後4時

10/28日 「安全な移乗・移動介助とその方法」

11/25日 「食事の介助とその工夫」

12/16日 「清潔を保つ方法」

令和6年

1/20日 「排泄の介助とその方法」

介護ワンポイント講座

～知ってトクする！トクトク介護講座～

介護における様々な分野で活躍する講師をお呼びし、それぞれのテーマについて詳しく学べる講義中心の講座です。

時間：午後1時～午後3時（12/23は午後4時まで）

11/18日 「元気な体いつまでも！（介護予防）」

12/23日 「これは助かる！便利な福祉用具」

令和6年

1/13日 「医療と介護」

2/ 3日 「認知症を理解してかわり方を学ぼう！」

定員 各回25名

会場 福島県男女共生センター
（二本松市郭内1丁目196-1）

講師 福島県介護福祉士会 会員 ほか

興味のあるテーマのみの受講も可能です。

申込はこちら
（二本松事務所
メールアドレス）



お申し込み・
お問い合わせ先

福島県社会福祉協議会
電話 0243-23-8306

人材研修課（二本松事務所） 介護実習・普及センター

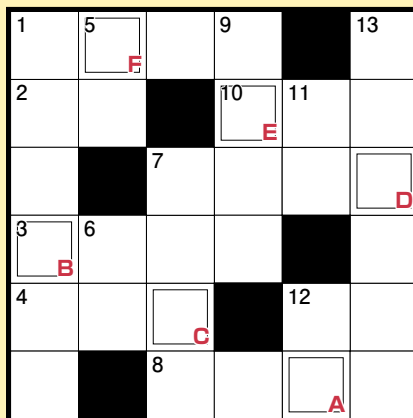
クロスワードにチャレンジ！

ヨコのカギ

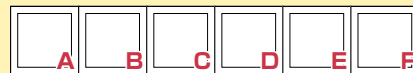
- リバーサイド
- 墨を吐き出す十本脚
- 鳥の採食器官。ヨコ②にもある
- 童謡「○○○はつづくよ どこまでも」
- 「奥の細道」で知られる俳諧師・松尾○○
- 三重県伊勢の銘菓。あんころ餅の一種
- 溶液中の溶質の割合。この食塩水の○○を求めよ
- 貢献すること。産業の発展に○○する

タテのカギ

- フック船長やモンキー・D・ルフィが操る乗り物
- 5・7・5・7・7
- 電子レンジの俗称。残り物を○○して食べる
- ムースにゼラチンを使ったフランスのデザート
- これを家畜化したものがブタ
- うねり曲がること。○○曲折
- お金や物を無償で譲渡すること
- フットワーク軽く、状況に即応できるから



全部できたら二重ワクの文字をABC順に読んでいくと、それが答えです。



正解者の中から
抽選で3名に
プレゼントが当たる



今日のプレゼント

RIBBON ☛ COFFEE
（福島市）

地産地消の季節の
ドライフルーツ3点セット

当選者の発表は商品の発送を
もって代えさせていただきます。

応募方法 ハガキまたはEメールにパズルの答えと ①住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号、業種 ②本誌に対するご意見、ご感想、ご要望を全てご記入の上、ご応募ください。

締切 令和5年10月13日（金）

宛先 〒960-8141 福島市渡利字七社宮111

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会「はあとふる・ふくしまパズル係」

メールでの
ご応募は
こちら！



／ 多数のご応募ありがとうございました ／

8月号の
正解

「ミライサガシ」（未来探し）

※ご記入の個人情報は適切に管理し、目的以外に使用しません。
※本誌に対するご意見、ご感想、ご要望の一部は、「読者のおたより」に掲載させていただく場合もございます。

7月号に寄せられた読者のおたよりから

丁寧な取材から得られたと思われる情報が盛りだくさんでとても勉強になります。
（69歳 無職）

「人間の4つの幸せ」、私もこのことを、肝に命じて長寿会活動に励んでいきたいと思っています。
（73歳 農業）

クロスワード、楽しく解いています。瓜生岩子是我的出身の喜多方に由来があるので懐かしかったです。
（55歳 教員）

編集後記

初めて「はあとふるふくしま」の特集を担当しましたが、いかがでしたでしょうか。分からないことだらけで先輩方に頼りきりでした。皆さまから「また読みたい！」と思っていただけるような避難者支援の取り組みを今後もお届けしたいと思っています。よろしく願いいたします。
（避難者生活支援・相談センター 青山矩仁）